

# 琉球大学学術リポジトリ

## 事例報告：琉球大学学術リポジトリ

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学学術リポジトリ事務局 公開日: 2008-02-25 キーワード (Ja): 機関リポジトリ キーワード (En): University of the Ryukyus Repository 作成者: 伊波, ひとみ, Iha, Hitomi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/4728">http://hdl.handle.net/20.500.12000/4728</a>

## 事例報告： 琉球大学学術リポジトリ

琉球大学附属図書館 伊波ひとみ  
九州地区機関リポジトリ・ワークショップ  
2008年2月21日

## 今日お話しすること

1. 琉球大学学術リポジトリの概要
2. これまでのあゆみ
3. 学内紀要の状況
4. 九州地区国立大学間連携論文集への協力

## 琉球大学学術リポジトリの概要

- URL: <http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp>
- 2007.3.1試験公開 2007.11.16正式公開
- システム: NALIS-R (NTTデータ九州)
- 登録コンテンツ数 2,784件(2008.2.19現在)
  - 学術雑誌論文 (246)
  - 大学紀要 (2,296)
  - 博士論文 (1)
  - 研究報告書 (188)
  - 会議資料 (28)
  - 沖縄関係コレクション (22)
  - その他 (3)

## これまでのあゆみ(1)

- 2006年
  - 5月 図書館にワーキンググループ(WG)設置
  - 5月22日 学長名でCSI事業に応募
  - 7月 3日 CSI事業受託について部局長懇談会等で文書配布
  - 7月26日～28日 NII学術ポータル担当者研修に参加
  - 10月10日 図書館運営委員会にて説明会を開催
  - 11月10日 「琉球大学学術リポジトリ規定」制定

## これまでのあゆみ(2)

- 2006～2007年
  - 11月30日 リポジトリ準備ページを学内限定公開
  - 12月 7日 全学説明会を開催(千原・上原キャンパス)
  - 12月22日 各部局長宛てに投稿依頼文書を送付
  - 1月～3月 説明会(教授会・紀要委員会・個別訪問)
  - 1月23日 各紀要委員会宛てに投稿依頼文書を送付
  - 1月24日 データ入力作業の外注開始

## これまでのあゆみ(3)

- 2007年
    - 2月 6日 リポジトリ準備ページを一般公開
    - 2月23日 リポジトリ国際講演会を開催
    - 3月 1日 仮サーバによりリポジトリ試験公開を開始
- 公開コンテンツ数: 60件
- ↓
- 2,784件 (2008.2.19現在)

## これまでのあゆみ(4)

- 2007～2008年
  - 4月2日 本サーバによるリポジトリ試験公開を開始
  - 7月1日 情報サービス企画係を設置
  - 9月6日 公開コンテンツ1,000件目達成
  - **11月16日 リポジトリ正式公開を開始**  
公開記念講演会を開催  
セルフアーカイブシステムを導入
  - 12月～2月リポジトリ説明会(セルフアーカイブ)
  - 2月14日 公開コンテンツが2,000件突破

7

## 広報活動

- 説明会等
  - 全学説明会(5回)
  - 教授会(3回)
  - 紀要編集委員会(3回)
  - 研究室への個別訪問(26回)
- 講演会 →資料は全てリポジトリで公開
  - 国際講演会(2007年2月23日)
  - 公開記念講演会(2007年11月16日)

8

## 広報活動

- パンフレット等
  - 手作りリーフレット
  - パンフレット(3,000部)
  - うちわ(300部)



9

## 広報活動

- ホームページ

試験公開中  
→準備ページで  
関係資料を全て  
公開。

正式公開後  
→ロゴマークを含め  
図書館の職員が  
自力でデザイン化



10

## 学内紀要(全19誌)の状況

- 電子化の状況
  - 2007年3月以前  
CiNiiにて公開済み・・・4誌  
その他15誌は電子化されていない状態  
↓
  - 2008年1月現在  
リポジトリにて公開済み・・・16誌  
その他3誌は「一括許諾待ち」

・在勤中の先生方へ  
リストをつけて許諾依頼  
・冊子体から電子化

11

## 学内紀要(全19誌)の状況

- 規定改定の例(1)

“『〇〇紀要』へ著作物を投稿したものは、それを琉球大学学術リポジトリへの登録を許諾したものとする。但し、著作物の著作権は現著作者が留保する。”

12

## 学内紀要(全19誌)の状況

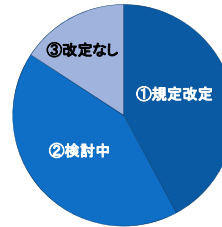
- 規定改定の例(2)

“著者の申し出が特にない場合、投稿された著作物は琉球大学学術リポジトリへ登録するものとする。但し、この場合、著作物の著作権は現著作権者(著者)に帰属するものとする。”

13

## 学内紀要(全19誌)の状況

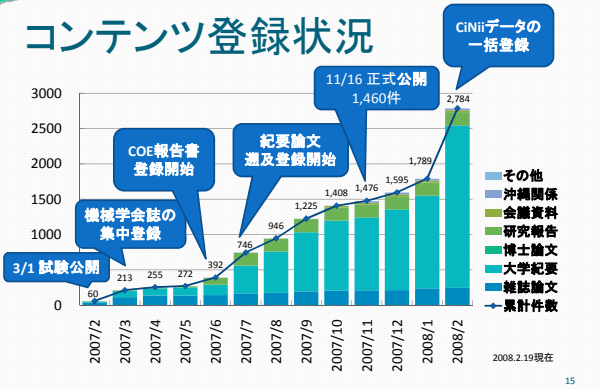
- 投稿規定等の見直し



- ① 規定改定・・・8誌
- ② 検討中・・・8誌
- ③ 規定改定はしないがリポジトリ掲載を奨励する(各執筆者の任意とする)・・・3誌

14

## コンテンツ登録状況



15

## 九州地区国立大学間連携論文集への協力

- 大学推薦枠3編
- 推薦方法の検討
  - ✗ 選考委員会を新たに設置する方法
  - ✗ 「学術リポジトリ運営連絡会」にその推薦機能をもたせる方法
  - 「学術リポジトリ事務局」と「学術リポジトリ運営連絡会議長」とにおいて推薦手続きを行う

16

## 推薦の手続き(1)

- 推薦対象紀要論文の抽出
  - 「教育系・文系」
  - 「2006年9月1日以降に発表または刊行された論文」
    - 10誌 98件 (うちリポジトリ公開済み43件)
- 論文内容を分類
  - ① 研究論文 / ② 巻頭言等 / ③ 翻刻等
  - ④ 報告等 / ⑤ 書評等 / ⑥ 未完・継続中
  - ① 研究論文にあたるもの=26件へ絞り込み

17

## 推薦の手続き(2)

- 「学術リポジトリ事務局」と「学術リポジトリ運営連絡会議長」による選考
  - 2件を推薦候補論文とする
- 執筆者本人へ説明
  - 2者ともに了承。推薦確定。

18

## 悩んだこと

- 推薦方法  
↓  
次号から「学術リポジトリ運営連絡会」で行う予定
- 推薦基準  
「研究論文」以外を除外  
→それでいいのか？

19

## 最後に

- 「学術機関リポジトリ」
- 「九州地区国立大学間連携論文集」  
↓  
どちらも図書館職員としてこれまでにない経験

せっかくなので、楽しくやろう！

20